

プログラム 第1会場

9:00～9:05 **世話人挨拶** 金原 秀雄（福井県済生会病院）

9:05～9:15 **院長挨拶** 笠原 善郎（福井県済生会病院）

9:15～9:30 **会長講演**

座長：迫 康博（福岡県済生会飯塚嘉穂病院）

金原 秀雄（福井県済生会病院）

9:30～10:10 **基調講演**

座長：迫 康博（福岡県済生会飯塚嘉穂病院）

糖尿病薬物治療の進歩と今後の展望 ～ QOLの向上を目指して～

中塔 辰明（岡山済生会総合病院 内科・糖尿病センター）

10:20～11:50 **一般演題1**

座長：一城 貴政（恩賜財団済生会 横浜市東部病院 糖尿病・内分泌内科）
阿部 恵（大阪府済生会野江病院 糖尿病・内分泌内科）

1-1 高浸透圧高血糖状態にて緊急入院となり、正中弓状靱帯圧迫症候群による 腓アーケード動脈瘤破裂を認めた2型糖尿病の一例

○澤田 布美¹⁾、京 志穂子²⁾、中野 嵩士¹⁾、関口 直孝¹⁾

1) 済生会福岡総合病院 糖尿病内科、2) 済生会飯塚嘉穂病院 内科

1-2 著明な低体温を伴った糖尿病性ケトアシドーシスを来した1型糖尿病の1例

○石躍ひとみ、比嘉真理子、詫摩 晃大、王城 人志、山下 馨、笠原 文子、
池原佳世子、一城 貴政

済生会横浜市東部病院 糖尿病・内分泌内科

1-3 統合失調症を合併した2型糖尿病患者に対して運動習慣の定着化にむけた 個別的運動指導取り組みの一例

○領家健之介¹⁾、須崎 裕一¹⁾、小野内 雄¹⁾、原 周生¹⁾、永迫 久裕²⁾、
岩屋智加予²⁾

1) 福岡県済生会大牟田病院 リハビリテーション部、2) 済生会大牟田病院 内分泌糖尿病内科

1-4 右足関節三課骨折の術前血糖管理を機に、1型糖尿病のカーボカウントの見直しとインスリン量の調整を行った一例

○権城 泉¹⁾、水越 常德²⁾、青木有希子³⁾、早川恵美子⁴⁾

1) 済生会小樽病院 医療技術部 栄養管理室、2) 済生会小樽病院 診療部 内科、

3) 済生会小樽病院 医療技術部 薬剤室、4) 済生会小樽病院 看護部

1-5 球後視神経炎に対するステロイドパルス療法に対し、HCL搭載インスリンポンプを用いて血糖コントロールを行った1型糖尿病の1例

○三嶋 麻揮¹⁾、利根 淳仁¹⁾、高橋 北斗¹⁾、窪津 康祐¹⁾、赤塚 陸²⁾、
岩藤友里亜¹⁾、妹尾 真弓¹⁾、金藤 光博¹⁾、下村 泰之¹⁾、野田 拓志²⁾、
勅使川原早苗¹⁾、成田亜希子²⁾、瀬口 次郎²⁾、中塔 辰明¹⁾

1) 岡山済生会総合病院 内科・糖尿病センター、2) 岡山済生会総合病院 眼科

1-6 NETと診断され周術期の血糖管理に人工膵臓を使用した1例

○高橋 北斗¹⁾、勅使川原早苗¹⁾、窪津 康祐¹⁾、妹尾 真弓¹⁾、利根 淳仁¹⁾、
藤井 雅邦²⁾、児島 亨³⁾、仁熊 健文³⁾、能勢聡一郎⁴⁾、中塔 辰明¹⁾

1) 岡山済生会総合病院 糖尿病センター、2) 岡山済生会総合病院 消化器内科、

3) 岡山済生会総合病院 外科、4) 岡山済生会総合病院 病理診断科

1-7 肝細胞癌合併糖尿病患者に対する運動療法の影響についての検討

○土橋 仁¹⁾、竹原 康浩¹⁾、小寺 祥恵¹⁾、小林 敦子¹⁾、松良 佳彦¹⁾、
久田あずさ²⁾、金原 秀雄²⁾、野ツ俣和夫²⁾

1) 福井県済生会病院 リハビリテーション部、2) 福井県済生会病院 内科

1-8 ICUにおける心臓外科手術後の血糖管理 ～Yale大学インスリン持続静注プロトコールの有用性の検討～

○宮窪亮太郎¹⁾、高山 洋平¹⁾、菅田 愛子¹⁾、坂本美賀子¹⁾、星乃 明彦²⁾、
松尾 靖人²⁾

1) 済生会熊本病院 看護部、2) 済生会熊本病院 糖尿病内科

1-9 Basal supported Oral Therapyで血糖コントロール不十分な2型糖尿病患者に対するイメグリミン追加投与の使用経験

○齋藤 大祐、山下裕美子、齋藤 聡、佐久間 純、菅家さやか、友常 健

栃木県済生会宇都宮病院 糖尿病・内分泌内科

1-10 成人2型糖尿病における経口セマグルチド導入後の投与継続に影響する要因

○門木 哲也^{1,2)}、辻本 雅之³⁾、阿部 恵⁴⁾、高橋 一栄¹⁾

1) 大阪府済生会野江病院 薬剤科、2) 京都薬科大学 履修証明プログラム、

3) 京都薬科大学 臨床薬学分野、4) 大阪府済生会野江病院 糖尿病内分泌内科

1-11 糖尿病教育入院での講義の受講とラジオ体操＋ウォーキングとの血糖降下の差の検討

○河合 俊英、田中 伸一、倉田 英明、田中 肇、香月 健志

東京都済生会中央病院 糖尿病・内分泌内科

1-12 糖尿病地域連携パスを用いた糖尿病患者の合併症予防の取り組み

○比嘉眞理子、石踊ひとみ、託摩 晃大、王城 人志、山下 馨、笠原 文子、
池原佳世子、一城 貴政
済生会横浜市東部病院 糖尿病・内分泌内科

12:00～12:50 ランチョンセミナー 1

座長：宮岡 弘明（済生会松山病院）

糖尿病チーム医療はアートかサイエンスか？

笹 俊成（金沢大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科学）

共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

13:30～13:40 次期世話人挨拶 松尾 靖人（済生会熊本病院 糖尿病内科 兼 栄養部）

13:40～14:40 特別講演

座長：金原 秀雄（福井県済生会病院 糖尿病内分泌内科）

糖尿病診療の変遷と展開－Diabetes Cure に向けて－

宮塚 健（北里大学医学部 内分泌代謝内科学）

共催：田辺三菱製薬株式会社／日本イーライリリー株式会社

14:50～16:50

シンポジウム

済生会グループが魅せる地域医療、チーム医療、 アドボカシー活動の在り方とは

座長：河合 俊英（東京都済生会中央病院 糖尿病・内分泌内科）
新谷 光世（大阪府済生会中津病院 糖尿病内分泌内科）

一医療従事者としての「アドボカシー活動」の関わり方

水野 賀夫（福井県済生会病院 薬剤部）

看護の力で人の「環」を創り、チームを元気に！地域を元気に！

佐藤真理子（社会福祉法人恩賜財団済生会支部岡山県済生会 済生会吉備病院 看護部）

糖尿病看護外来での患者との関わり ～アドボカシー活動とチーム連携の実際～

石上 美紀（大阪府済生会中津病院 看護部）

糖尿病をもつ患者を取り巻く乖離的スティグマとアドボカシーの思い

柏山 和美（東京都済生会中央病院 外来係長看護師 糖尿病療養指導士）

当院におけるチーム医療の取り組みについて

梅岡 二美（済生会松山病院 甲状腺糖尿病センター）

16:50-17:00

閉会挨拶

金原 秀雄（福井県済生会病院）

プログラム 第2会場

10:20～11:50

一般演題2

座長：友常 健（済生会宇都宮病院 糖尿病・内分泌内科）
石井 達哉（東京都済生会向島病院 糖尿病センター）

2-1 初めて高カリウム血症と診断されたうつ病合併症患者との関わり ～冬場ならではの原因とその指導内容～

○石田美津子¹⁾、横田 百合¹⁾、横井さゆり¹⁾、岡崎 麻美¹⁾、櫛部 多愛¹⁾、
兵頭 千恵²⁾、杉 亜里沙²⁾、徳野みどり²⁾、梅岡 二美³⁾、宮岡 弘明³⁾

- 1) 社会福祉法人恩賜財団済生会松山病院 栄養科、
2) 社会福祉法人恩賜財団済生会松山病院 看護部、
3) 社会福祉法人恩賜財団済生会松山病院 甲状腺糖尿病センター

2-2 低血糖発作による救急搬送をきっかけに判明した認知機能低下・服薬インスリン実施率が低下した糖尿病のある人のライフステージに合わせた薬剤調整を行った一例

○青木有希子¹⁾、佐渡 望¹⁾、權城 泉²⁾、早川恵美子³⁾、水越 常德⁴⁾

- 1) 済生会小樽病院 薬剤室、2) 済生会小樽病院 栄養管理室、3) 済生会小樽病院 看護部、
4) 済生会小樽病院 内科

2-3 糖尿病患者とコーチング～動機付け面接によって運動への行動変容に繋がった一例～

○原 周生¹⁾、須崎 裕一¹⁾、小野内 雄¹⁾、永迫 久裕²⁾、岩屋智加予²⁾

- 1) 福岡県済生会大牟田病院 リハビリテーション部、
2) 福岡県済生会大牟田病院 内分泌糖尿病内科

2-4 当院SCUに入室した糖尿病を有する脳梗塞患者の行動変容と血糖値の変動について

○中川 里衣¹⁾、竹林 尚恵¹⁾、谷口 俊江¹⁾、宮崎 可苗²⁾、高畠 靖志³⁾、
金原 秀雄⁴⁾

- 1) 福井県済生会病院 栄養部、2) 福井県済生会病院 看護部、
3) 福井県済生会病院 脳神経外科・脳卒中センター、4) 福井県済生会病院 内科

2-5 糖尿病高齢患者の足に対するセラミドワセリン配合剤とワセリン配合剤の 保湿効果の比較

○尾畑 智美、梶原奈津子、佐藤 泉、水野 真未

済生会飯塚嘉穂病院 看護部

2-6 当院における糖尿病治療薬（主に配合剤、週1製剤）の処方割合の変遷と 服薬アドヒアランス

○古川 貴弘¹⁾、有田 好之²⁾、迫 康博²⁾

- 1) 福岡県済生会飯塚嘉穂病院 薬剤部、2) 福岡県済生会飯塚嘉穂病院 糖尿病内科

2-7 糖尿病イベント参加者における運動習慣と身体組成

○須崎 裕一¹⁾、小野内 雄¹⁾、領家健之介¹⁾、永迫 久裕²⁾、岩屋智加予²⁾

1) 福岡県済生会大牟田病院 リハビリテーション部、

2) 福岡県済生会大牟田病院 内分泌糖尿病内科

2-8 糖尿病性腎症患者への運動継続実施長期効果

○近藤 源¹⁾、梅岡 二美²⁾、宮岡 弘明²⁾

1) 済生会松山病院 リハビリテーション科、2) 済生会松山病院 甲状腺・糖尿病センター

2-9 各特性に合った運動指導ツールの作成を目指した当院における糖尿病治療を目的として入院した人の傾向調査

○城田 祐輔¹⁾、三浦富美彦¹⁾、舩岡紗也香¹⁾、青木有希子²⁾、水越 常德³⁾

1) 済生会小樽病院 リハビリテーション室、2) 済生会小樽病院 薬剤室、

3) 済生会小樽病院 内科・消化器内科

2-10 糖尿病教育入院患者に対するリハビリテーション部の取り組み ～教育内容の統一化と行動変容改善を目指して～

○小野内 雄¹⁾、原 周生¹⁾、須崎 裕一¹⁾、永迫 久裕²⁾、岩屋智加予²⁾

1) 福岡県済生会大牟田病院 リハビリテーション部、

2) 福岡県済生会大牟田病院 内分泌・糖尿病内科

2-11 外来糖尿病患者の腎症管理率向上のための取り組み ～パイロット事業を終えて継続している活動と腎症管理率の現状報告～

○兵頭 千恵²⁾、徳野みどり²⁾、杉 亜里沙²⁾、梅岡 二美¹⁾、宮岡 弘明¹⁾

1) 済生会松山病院 甲状腺・糖尿病センター、2) 済生会松山病院 看護部

12:00～12:50 ランチョンセミナー 2

座長：関口 直孝（福岡県済生会福岡総合病院 糖尿病内科）

isCGMが切りひらく糖尿病診療の新たな治療戦略

西村 理明（東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科）

共催：アボットジャパン合同会社

第1部 14:50～15:40 Keynote Lecture

座長：金原 秀雄（福井県済生会病院 糖尿病内分泌内科）

何故、糖尿病をもつ人に負の烙印が押されるのか
～スティグマを行動経済学で考える～

古川 健治（北陸先端科学技術大学院大学 保健管理センター）

第2部 15:40～16:30

司会：金原 秀雄（福井県済生会病院 糖尿病内分泌内科）

症例を通じて考えるチーム医療のあり方とは？

コメンテーター： 古川 健治（北陸先端科学技術大学院大学 保健管理センター）

パネリスト： 渡辺 拓生（福井県済生会病院）

林 純平（神奈川県済生会横浜市東部病院）

河野 通正（大阪府済生会野江病院）

佐藤健太郎（福井県済生会病院）

共催：小野薬品工業株式会社／アストラゼネカ株式会社